

御旅社七夕祭のご案内

来月の七月六日〜七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は日本古来の天棚機比売の伝説と、大陸の牽牛織女（彦星と織姫）の伝説、また芸芸上達を祈る乞巧奠の儀礼が相まって形作られた行事で、芸芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当宮の七夕祭は、京都の北野天満宮で七月七日に行われる「御手洗祭」に倣い、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達、心身の清浄、諸願成就を祈願致します。当日は、夕方の午後四時から午後十時まで、短冊奉納（各色一枚百円）などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願いを胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭(たなばたさい)
 日時 令和元年 七月六日(土)〜七日(日)
 午後四時〜午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

※本年は土日の為大変な混雑が予想されます。ご参拝の折には足元などご注意ください。

歯神祭のご案内

名称 歯神社例祭（別名 歯ブラシ感謝祭）
 日時 令和元年六月四日(火) 午前十一時
 場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社
 (ねぎ焼きやまもと梅田エストア店 裏側)
 備考 歯ブラシ授与は先着百名迄(整理券式)
 お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

※神事前日から当日は準備等々に多忙の為、電話等のご対応はお受付出来ません。予めご容赦下さい。

嵯峨天皇さまと大袈裟の人形

六月三十日は、お正月から半年のうちに、知らず知らずのうちに積み重なったケガレを祓う大袈裟という祝詞が行われる日です。この時、大袈裟という祝詞のようなものを奏上する他、大きな神社では人形流しなども行われます。この人形とは、人の形に切り抜かれた紙でそれと身体をぬぐって、ケガレを移すというものです。古代では移したあとは川に流されました。(これが流し雛など雛人形の原点ともいわれています)

その人形ですが、古くは金属製で、御贖(みあがも)といい、『年中行事秘抄』などによれば、この御贖を初めて用いたのが、当宮御祭神の嵯峨天皇さまであったという説があります。弘仁五年六月七日に嵯峨天皇さまが調子を崩され、その時のお祓いで用いられた事がきっかけで御贖が皇室行事となり、そこから大袈裟での人形になった可能性を室町時代の『公事根源』では指摘しています。現在も続く人形のお祓いは嵯峨天皇さまに由縁するのかもしれませんが。暑さ厳しくなり体調崩ししやすい時期。どうぞ心身ともにケガレを祓って良い夏にしましょう。

今月の暦

【祭礼】

歯神祭(四日)：当宮未社の歯神社の例祭
 御誕辰祭(廿五日)：菅原道真公誕生日 神事のみ
 夏越大袈裟(三十日)：半年間の罪穢を祓う 神事のみ

【節気】

芒種(六日)：イネ科の種まきの頃
 夏至(廿二日)：一年で最も日中の時間が長い日

【雑節】

入梅(十一日)：梅雨入りの頃。また梅の収穫期
 歯と口の健康週間(四日〜)：歯を大切にしましょう

【大安】

六月三日、九日、十五日、廿一日、廿七日

【忌日】

大阪大空襲の日(一日)：二回目の空襲。当宮罹災の空襲
 沖繩慰霊の日(廿三日)：先の沖繩戦終結の日

【旬】

- 【野菜】 枝豆、サヤエンドウ、トウモロコシ、タマネギ
- 【果物】 梅、杏、スモモ、さくらんぼ、枇杷
- 【魚介類】 アジ、キス、飛魚、ホタテ、若もずく
- 【その他】 杜若、菖蒲、紫陽花などの季節の花が見頃。

網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)
 白江 秀 知

